

人はお手本

明々方 中山大作の昨詩 人金いろく

が有られていた

この細知、てい

と言っても昨詩 昨曲 知らずに 細が有る

れていたのを知っていたのや

詩の氣を午の9時 最近のこと

詩のすばらしさに氣づかず 垂いていた

えに ばかりでなく

氣がつかない 二と 三くさん あり

つれ心し の行動を見て そうするに

とわかることがある

まわりの人によつて 氣がつかない 二と 三

するとしらる ひとりのお手本といえる

自分と ちがう人は 勉強になる

そういえば いろく 勉強して来た

おなかで 自分の言動に 氣をかける

ことがある

人のふり見て 我かふり するに

と言葉が足りる

自分の言動を
考へる
きつがけ
人の行脚が
お手本

2026
5/1